

中田久恵選 投稿数20首

この雨の一粒に希望あり春の芽吹きは生きる糧なり
 (評) 短歌と云ふ三十一文字の中に、作者の思いと願いがすつしりつまった味わい深く、尚春への憧憬の深さがあり素直な表現で、人々の心を洗ひ清める様な秀歌である。立春もすぎ重いコートも脱ぐのも間近であろう。ここに春の歌を一首「髪梳けるちからこもりてひたぶるに春の潮をひきしほるなり」兩宮雅子。豊かな髪を梳く、おのずと手に力がこもり梳き続けるそのたまゆらは、高まる春の潮をひきしほる思い。女の知る春の充実である。
 足痛み背負いてくれるぬくもりの息子の背中溢れる慈愛 皆野 新井 愛子
 長寿なる父母に給ひしこの体親にまさると医師に誉めらる 三沢 新井 民子
 幼とき子守す我の背中には眠りし妹還暦という 下田野 新井 節子
 野に遊び腰置く椅子にほのぼのと温もり覚ゆ春立てる日よ 三沢 長谷河ソノ
 悲喜こもごも綴りきたりし日記帳に六十余年の感慨ふかし 三沢 新井 叶子
 隣国の威嚇とみえる行動に危機感はしる日本全土に 三沢 鈴木 貞恵
 清浄の雨も静かに初春をよびいま年明けの庭に佇ちたり 皆野 根岸 詩子
 自己流に絵手紙書きて娘と交す批評結果は爆笑となり 下田野沢 浅見 豊子
 五十余年振りの邂逅なつかしく語り明かせり初春の宿 皆野 関根 助市
 節分をクリスマスかと見紛ひぬ恵方巻ロール店に積まれば 皆野 打木 昭広
 婚礼の宴に向う高速道富士を拝む雲一つなし 皆野 保科 従道
 澄み渡るコバルト色の長瀬を靴脱ぎ入る緩む流れに 皆野 市川 岳樹
 荷を背負いて登りし人ら今は亡く廢れし旧道笹子鳴きおり 三沢 眞下 杏子
 週二日デイケア利用楽しみに通いし人に車椅子出す 皆野 原 和幸

※2月号 短歌 豊田喜美恵さんの作品【誤】安堵感密つ【正】安堵感満つ お詫びして訂正します。

引間豊作選 投稿数21句

獸みち白く残して雪解山 三沢 眞下 杏子
 (評) この辺で獸みちといえば、私達が時折踏み込む端山の径で、鹿や猪よりもっと小型の山兔とか狐・狸の類が往き交う細道のこと。雑木林などでは、落葉が踏み固められて、それとはつきりわかるもので雪の後は特に顕著である。歳徳神とは、陰陽道で年のはじめに祭る神。その神のいる方角を恵方または明きの方といい、吉とされる。元日にその年の恵方にあたる社寺に参拝し、その年の福を祈ることを恵方詣という。近年では、節分に大巻き寿司(恵方巻)を恵方に向かって食べるようになった。
 恵方へと始発電車の光かな 皆野 根岸 詩子
 誉められて土産に持たす大根漬け 三沢 鈴木 貞恵
 秩父路に白昼の雪深々と 皆野 原 和幸
 足預く湯婆に地震の記憶かな 三沢 新井 民子
 鬼は外内弁慶も声高に 皆野 太幡真由美
 春待つや洋蘭首を長くして 三沢 澤野 恒平
 冬桜散りて秩父嶺山眠る 皆野 加藤マリ子
 踏まれても耐える夜明けの霜柱 下田野 藤原 道男
 柵に我が家の恒例いわし刺し 下田野 新井 節子
 突然の訃報運びし紋黄蝶 国神 浅見 広行
 路のとう首をちぢめて春を待つ 金崎 堀口あいの
 すれちがうインディアンナウ運転手 皆野 戸塚喜久雄

俳句・短歌を募集
 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して
 総務課へお寄せください。
 8日必着 1人1句、1首に限ります。

1歳のお誕生日おめでとう


ゆずき 柚妃ちゃん
 上の台区 坂本 童矢さん
 あゆみさん
 パパっ子のゆずちゃん♪
 無事に生まれてきてくれて
 ありがとう。

あいと 愛大くん
 下大浜区 櫻井 厚司さん
 彩さん
 愛大の笑顔が家族みんな大好き♡
 愛くんスマイルで元気に
 成長してネ☆

ひなのちゃん
 下大浜区 門平 行央さん
 ちひろさん
 生まれてきてくれて
 ありがとう♡
 ぱぱとままは幸せいっぱいよ。

けんいち 健市くん
 下田野区 石渡 健さん
 裕子さん
 けんちゃん、たくさんの幸せ
 ありがとう♡
 優しい男の子になってね♡

1歳になる
 赤ちゃんを
 募集しています



ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに総務課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。
 問合せ 総務課企画政策防災担当 ☎62-1231